

不登校対策支援プラン

プランの策定にあたって

更新日 4 月 2 日

県内において不登校児童生徒数は増加傾向にある中、不登校対策では、対象や課題性に基づいた取組が求められています。全ての児童生徒を対象とした取組や不登校の予兆が見られる児童生徒への支援、欠席が継続している児童生徒への支援を組織的かつ計画的に行うことが必要です。

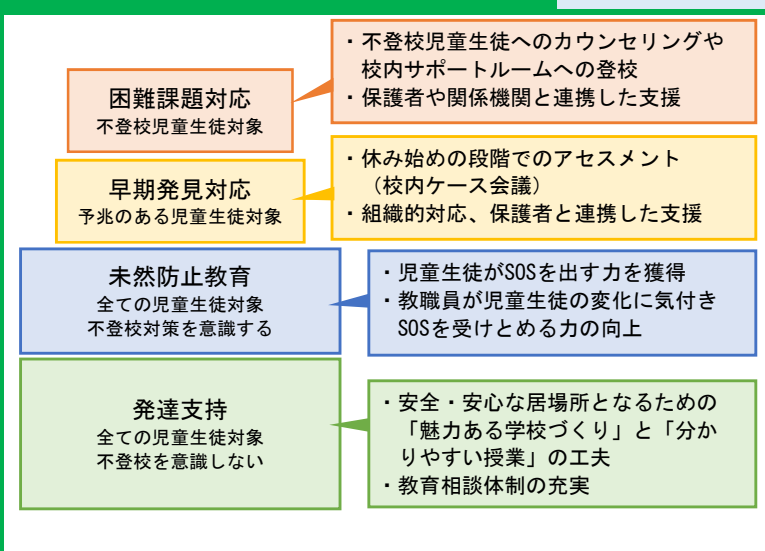
本校では、実態を把握し、以下の目標や取組を設定し、教職員が一丸となり対策を進めることで、誰一人取り残すことのない、持続可能な不登校対策や支援を行います。

不登校対策の目標

- 1 児童の実態を的確に把握し、内面理解を職員間で共有する。
- 2 児童、保護者ともに支援が必要な家庭への丁寧な対応を怠らないようにする。
- 3 児童の小さなSOSに早期に気づくことができるよう心がけ、誰一人取り残さないよう、チーム山崎西小として支援を行う。

不登校対策における重層的支援構造

参考：生徒指導提要R4.12



不登校対策チーム構成

管理職、主幹教諭、生活指導担当、児童支援担当、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、該当担任

不登校児童生徒支援関係機関等

教育支援センター、家庭児童相談室、子ども家庭センター、学校サポートチーム、学校評議員会

4つの層での取組 等

発達支持

- ・互いを認め合い、はげまし合う集団づくりをする。
- ・教室で安心して学習ができる魅力ある授業づくりをする。

未然防止教育

- ・担任、生活指導担当、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが連携して、児童が相談する力やスキルを身につける授業を実施する

早期発見対応

- ・毎日の児童の健康観察（端末利用）、教育相談等を活用し、児童の小さな変化を見落とさないように目を配る。

困難課題対応

- ・校内に相談室を設置し、落ち着いて過ごせる場所を確保する
- ・外部機関と連携したチーム支援をおこなう。